

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	美郷町家庭教育支援チーム (呼称:みさと家庭教育 10 選[実践]ジッセンジャー)
活動開始年度	平成26年度
活動拠点	美郷町中央公民館
活動範囲	美郷町内
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(社会教育活性化支援プログラム 26年度のみ) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>6人</u> 中央公民館職員 5人 家庭教育サポートプログラムチーフトレーナー1人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 家庭教育支援講話 家庭教育実践演劇 家庭教育実践ビデオの放映 あいさつと一声運動(み3・さと30の日)の実施
活動の成果	「家庭教育」を難しく考えている子育て世帯が多いようである。個々の家庭において、日常の生活での会話や活動の中で、生涯に必要なことを教えていくことであることと、その重要性を認識させることを目的に活動している。年度のまとめで行ったアンケートにおいて、まだまだ事業が浸透していない結果があったこと等から、今後も継続して事業を実施することとしている。
活動において苦労した点や課題	それぞれの家庭教育環境に応じた対応が必要とされている。「家庭教育」を寄り身近に感じてもらう工夫が必要である。
今後の活動目標	家庭教育の充実と振興を図る中に、キャリア教育を盛り込む等(地域・郷土愛の醸成)で、地方創生事業との関連を深めていきたい。 また、宮崎県家庭教育サポートプログラムの改定に合わせ、「家庭教育実践劇」の充実を図る。
問合せ先	(部署)美郷町教育委員会教育課 (TEL)0982-66-3608 (E-mail) h-kyouiku@town.miyazaki-misato.lg.jp



みさと家庭教育 10 選(実践)イラスト「遊びは心と体の栄養素」

みさと家庭教育10選 (実践)

がまんは喜びを生む

- がまんと努力の積み重ねによる成就の喜びを教えよう！
- 買って与える前にちょっと考えよう
- がまんする体験を多く持つ子はすぐキレたりしない

命を育む思いやりの心

- 命は一つ 生きる喜びの実感を伝えよう
- 命の尊さ 思いやりの心は身近な体験から
- 思いやりの心と言葉で 豊かな人間関係を

手伝いは社会的自立の第一歩

- 「お手伝いしたい」の気持ちを大切に
- 屋外の手伝いもしっかりさせよう
- 働く喜びや大切さを味わわせ 将来の夢やあこがれを育てよう

遊びは心と体の栄養素

- 自然とのふれあいをもたせよう
- 子どもどうしの遊び・スポーツを大切に
- 人と仲良く 物を大事に遊ばせよう

あいさつはいつでもどこでも誰とでも

- 「ありがとう」「おはよう」「～てきます」は家庭から
- 気持ちよいあいさつは人の心をなごませる
- 明るいあいさつは心の扉をあける「鍵」

ルールは社会性を学ぶ第一歩

- 家での約束が守れたらしっかりほめよう
- ルールを守る子は多くの友達ができる
- 公共の場でのマナーを大切に

夢は子どもをおおきく育てる

- 過干渉・過保護をやめて 子どもの夢を育もう
- できた！の喜びが夢を育てる
- 「なぜ」「どうして」の疑問が夢を育てる

「もったいない」を大切に

- ものに感謝して大切に使う生活習慣を
- 好き嫌いをなくして元気な体を
- ポイ捨ては心と地球を汚すもど

絵本や読書で豊かな感性を

- 幼いときからの読み聞かせが読書好きをつくる
- 感動したり想像したりする楽しさを教えよう
- 「我が家の「家読（うちどく）」をはじめよう」

楽しい食事で一家だんらん

- わが家の食卓 はずむ話題でおいしい食事
- 身につけよう 食事作法は家庭から
- 進んでさせよう 食事準備と後片づけ

しっかりほめて きちんと叱ろう
大人が変われば 子どもも変わる

子育ての悩み 相談すれば道は開ける
祖父母 友達 近所の人々の力も借りよう

ご家庭の目立つ所に貼りましょう

美郷町教育委員会内

美郷町親子学びあい実行委員会

家庭教育等に関する相談電話：66-3608 (FAX: 66-2131)

